

2024年6月19日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

アテゾリズマブ/ベバシズマブ併用療法における GLIM 基準による低栄養診断と予後の関連

[研究の目的]

本研究はアテゾリズマブ/ベバシズマブ併用療法の治療を受けたことのある肝細胞癌患者さんの栄養状態が予後に影響を与えるのかを後ろ向きに検討することです。GLIM 基準「Global Leadership Initiative on Malnutrition (GLIM)」とは、欧州・米国・アジア・南米の臨床栄養学会が共同で策定した世界共通の低栄養診断方法です。

低栄養はこれまでの体重や筋肉量の減少、食物摂取不足による低栄養に加え、消化管の状況、疾患に関連する炎症を考慮して診断します。

将来的には適切な栄養療法を検討し治療効果の向上に役立てたいと考えています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

肝細胞癌の患者さんで、2020年10月1日から2023年1月31日の間に、消化器内科に通院・入院された方)

○利用する検体・情報

年齢、性別、成因、基礎疾患、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査等)栄養摂取量、治療効果判定、有害事象の有無

[研究組織]

香川大学医学部附属病院医療技術部 臨床栄養部門 栄養士長 北岡 陸男

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 医療技術部 臨床栄養部門 担当 北岡 陸男

